



未来を読んでいる。
未来が呼んでいる。

社長メッセージ

世界経済は進化するデジタル技術をいち早く囲い込み独占的運用基盤を構築した巨大IT企業の支配力が強まっております。まさに“21世紀の産業革命”といった様相を呈しております。その中でわが国はモノづくり立国として「付加価値」を生み続けることで生き残る道を選ぶべきだと考えております。

そのためには、難しい技術・システムの開発に挑戦し続けなければなりません。幸いにして日本は多くの基礎技術・要素技術・先端研究を有しております。他の先進国、新興国にない日本ならではの国際競争力を追求し、結果を出すことが求められます。

日刊工業新聞社は2025年に創刊110年になりますが、創刊以来「モノづくり立国」「科学技術立国」「中小企業振興」の旗を掲げて産業総合紙として歩んでまいりました。報道にあたっては現地・現物・現実をしっかりと確認し、ファクトに基づいて報道する方針を貫いてまいりました。

近年は、新聞事業にとどまらず、展示会事業やデジタル分野への取り組みにも注力しております。なかでも、2023年11月に日本ロボット工業会と共催した「国際ロボット展」は東京ビッグサイトにて開催され、約15万人が来場し、国内最大級のBtoB展示会となりました。また、産業界の変化に即応する情報基盤として、電子版を中心としたデジタル事業にも力を注いでおります。読者がどこにいても質の高い産業情報にアクセスできる環境を整備し、情報の信頼性・即時性を両立する体制を構築しています。ニュース配信のみならず、動画、セミナー、オンライン展示、業界別の特集コンテンツなど、多様な価値あるコンテンツの創出に取り組んでおります。

わが社は、今後とも産業界の発展のために全力を尽くしてまいります。引き続きご支援・ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

(2025年6月20日)



日刊工業新聞社 代表取締役社長

神阪 拓

日刊工業新聞社は、
「産業総合紙」として、
不断の努力を重ね、
豊かな社会の発展に貢献します。

【経営理念】

- 〇物事の本質を捉え、産業界の指針となり得る情報を発信する
- 〇モノづくりの革新に注力し、わが国の産業・技術の発展に貢献する
- 〇社員を大切にし、人材の育成に努め、競争力のある企業を実現する

【会社概要】

社 名 : 株式会社 日刊工業新聞社
代 表 者 : 代表取締役社長 神阪 拓
本 社 : 〒103-8548
東京都中央区日本橋小網町14-1
代表番号 : TEL.03-5644-7000
FAX.03-5644-7100
資 本 金 : 1億円
社 員 数 : 465名(令和6年7月1日現在)

沿革 100年の歩み



創業者 近藤義太郎



現存する最古の『金属工業世界』
(大正7年7月15日付)



池田勇人首相と増田日刊工業新聞社社長 対談
(昭和38年9月)



田中角栄著『日本列島改造論』
(昭和47年日刊工業新聞社刊)



次の100年も日本の産業発展に寄与できるよう、様々な事業を展開しています。

- 大正 4年(1915) **創業者 近藤義太郎により「金属工業鉄世界」を発行**
- 大正10年(1921) 「金属工業鉄世界」を「工業新聞」に改題
- 大正11年(1922) **「工業新聞」を「日刊工業新聞」に改題**
- 昭和16年(1941) 本社を大阪から、東京・銀座へ移転
- 昭和17年(1942) 政府の新聞事業例に基づく日刊工業新聞、時事経済新報、中外商業新報(日本経済新聞の前身)等との合併になる「日本産業経済」が発刊
- 昭和20年(1945) 「工業新聞」の題字で復刊第1号を発行
- 昭和21年(1946) 社団法人日本新聞協会に入会
- 昭和25年(1950) **題字を「日刊工業新聞」と改める**
- 昭和34年(1959) 日刊工業新聞十大新製品選定表彰制度を設け、本年度より毎年表彰を行う
- 昭和38年(1963) 本社新社屋完成
- 昭和41年(1966) 国内初のファクシミリ国産第1号を導入
- 「日本産業広告賞」を創設
- 昭和44年(1969) 日本産業広告協会(現日本BtoB広告協会)を設立
- 昭和45年(1970) 「機械工業デザイン賞」を創設
- 昭和47年(1972) 「日本産業技術大賞」を創設
- 田中角栄著「日本列島改造論」を発売、ベストセラーとなる**
- 紙齢10,000号達成
- 世界初の産業用ロボットの展示会「国際産業用ロボット展(現国際ロボット展)」を開催**
- 昭和49年(1974) 「環境賞」を創設
- 業界初の週休2日制を実施
- 昭和51年(1976) 「発明大賞」を創設
- 昭和53年(1978) 「フレッシュマン産業論文コンクール(現フレッシュャーズ産業論文コンクール)」を創設
- 昭和58年(1983) 「優秀経営者顕彰制度」を創設
- CTS(新聞制作システム)の新システムN-CESによる新聞制作を開始
- 昭和60年(1985) 日本工業人クラブ連合会(現日本産業人クラブ連合会)を設立
- 創刊70周年事業として「日刊工業産業研究所」を設立
- 昭和63年(1988) 「中小企業優秀新技術・新製品賞」を創設
- 平成 2年(1990) 大阪支社、名古屋支社、西部支社の新社屋完成
- 「読者が選ぶネーミングベスト10(現読者が選ぶネーミング大賞)」を制定
- 平成 3年(1991) 「グリーンフォーラム21」発足
- 平成 7年(1995) タウン情報誌「メトロガイド」を発刊
- 平成 8年(1996) インターネット・ホームページ「日刊工業新聞社 Business Line」を開設
- 平成10年(1998) 「オゾン層保護大賞」を創設
- 平成12年(2000) 電子メールによる新聞界初のニュース配信「ニュースウェブ21」スタート
- 平成16年(2004) **本社を東京・日本橋小網町に移転**
- 「モノづくり部品大賞(現超モノづくり部品大賞)」を創設
- 平成17年(2005) 「第1回キャンパスベンチャーグランプリ全国大会」を開催
- 平成18年(2006) 紙齢20,000号達成
- 平成19年(2007) 「モノづくり推進会議(現モノづくり日本会議)」を設立
- 平成23年(2011) 「100年経営の会」設立
- 平成24年(2012) 本紙の電子版販売開始
- 平成27年(2015) 題字含め紙面デザインを一新
- 新CTS始動
- 「日本防災産業会議」発足、日刊工業新聞社が事務局となる
- Webサイト「ニューススイッチ」をリリース
- 創刊100周年**
- 平成30年(2018) 「SDGメディア・コンパクト」創設メンバーとなる
- 令和4年(2022) 東京支社を東日本支社、大阪支社を西日本支社に名称変更

【題字の変遷】



1921年4月25日
～1922年6月23日



1922年6月24日
～1942年10月31日



1945年9月15日～1950年2月28日



1950年3月1日
～1961年9月30日



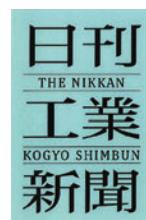
1961年10月1日
～1971年4月30日



1971年5月1日
～1984年12月28日



1985年1月1日
～2015年6月26日



2015年6月29日～

新聞・デジタルメディア事業

産業総合紙としての役割を果たすため、
すべての産業分野を網羅し、迅速・的確な情報を発信し続ける新聞、デジタルメディア事業。



■日刊紙発行



■電子版



■ニューススイッチ

日刊工業新聞の記者が気になる記事を解説。新聞とはひと味違う切り口でニュースを紹介



■TREK!

新聞・雑誌記事、画像・図版、セミナー動画などを販売



■電子版アプリ

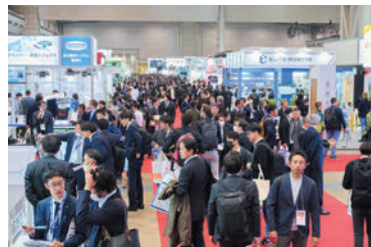
イベント事業

「国際ロボット展」「MF-TOKYO」「スマートファクトリーJapan」
「防災産業展」など先端分野から要素技術まで
幅広くコミュニケーションの場を提供

NIKKAN EVENTS



詳しくはこちら



愛知

AXIA EXPO

スマートファクトリー
Japan 2024 愛知

名古屋プラスチック工業展2024

大阪

未来モノづくり
国際EXPO

福岡

第24回 西日本
食品産業創造展 '24

人と社会の豊かな未来を創造する
モノづくりフェア2024

東京

IREX[®]
INTERNATIONAL ROBOT EXHIBITION

MF-TOKYO 2025
第8回 プレス・板金・フォーミング展

試作市場 & 微細・精密加工技術展

高精度・難加工技術展

洗浄総合展

表面改質展
Surface Structure Design Show

Japan Robot Week 2024

防災産業展2025

VACUUM真空展

グリーンインフラ産業展 2025

先端材料技術展

2025 4th
国際宇宙産業展 **ISIEX**

スマートファクトリー
Japan 2024 秋

Geo spatial
空間EXPO

出版・教育事業／顕彰・表彰事業

深い技術動向や経営実務を分かりやすく読者に届ける雑誌・書籍の販売、セミナーや教材制作事業も展開。



■書籍刊行



■雑誌刊行



■教材DVD製作



■セミナー運営



■通信教育事業

おもな顕彰・表彰事業

十大新製品賞

日本産業技術大賞

機械工業デザイン賞 IDEA

日本産業広告賞

環境賞

発明大賞

優秀経営者顕彰

中小企業優秀新技術・新製品賞

読者が選ぶネーミング大賞

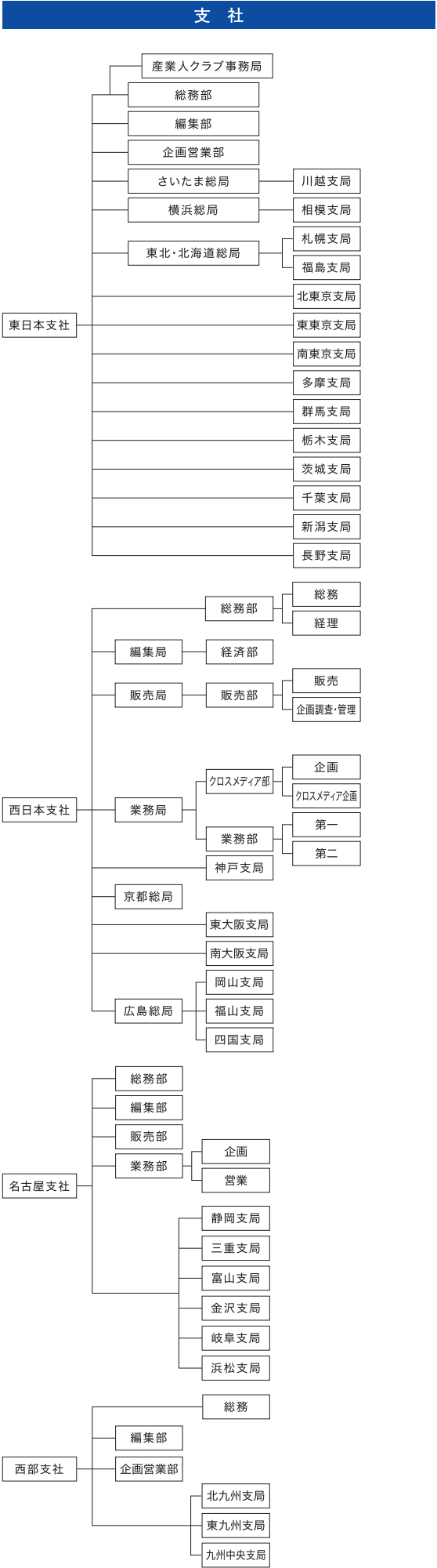
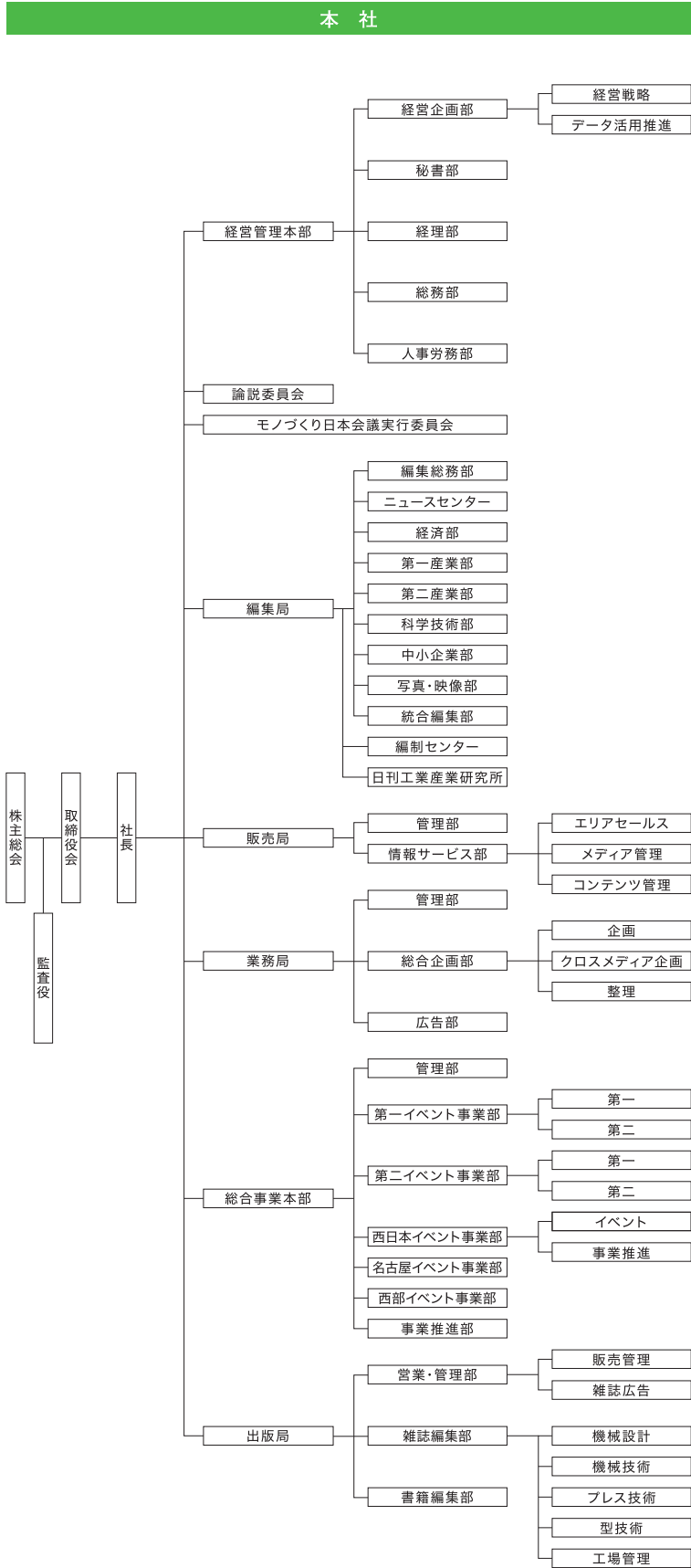
キャンパスベンチャータンブリ

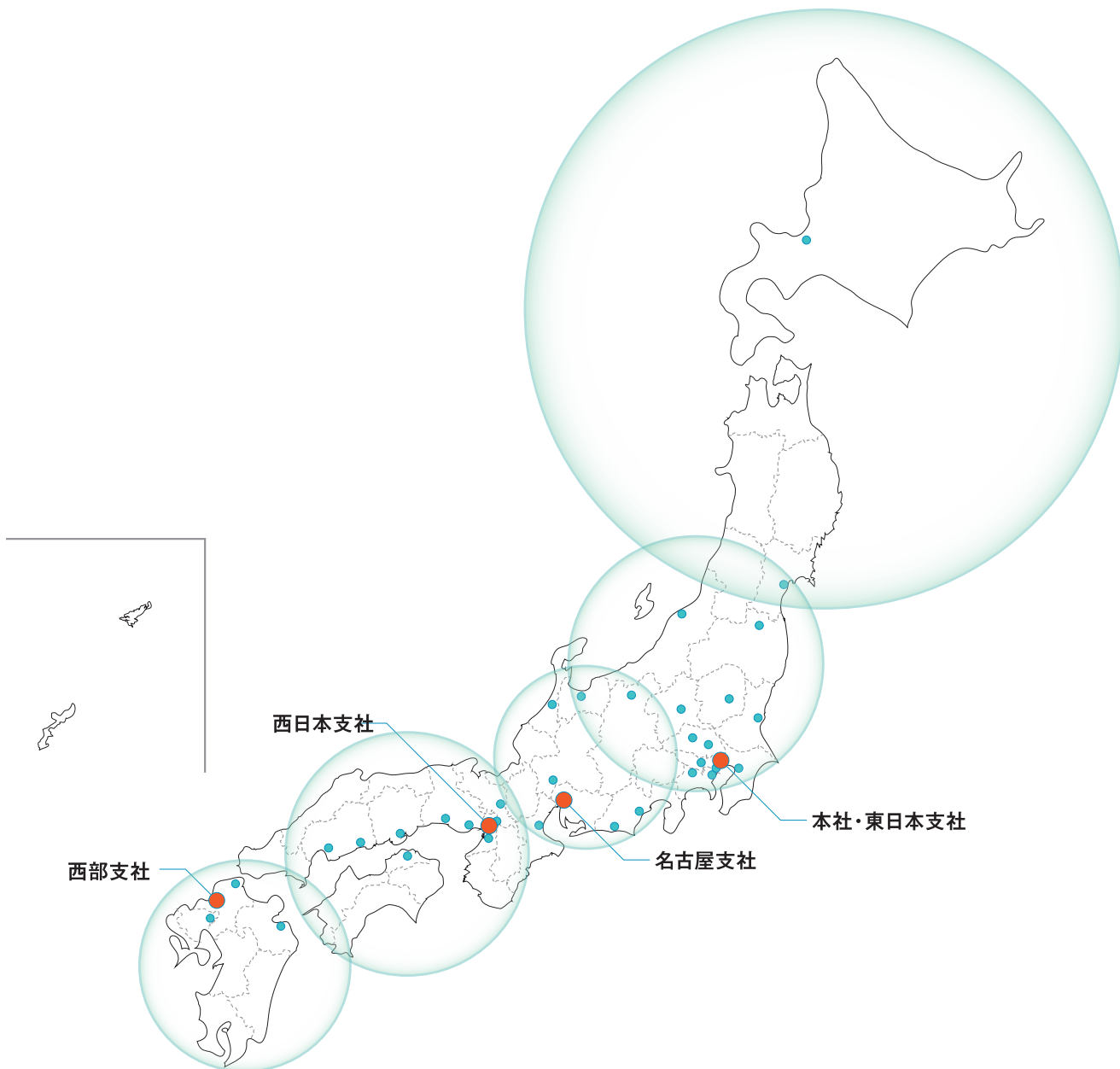
理工系学生科学技術論文コンクール

超モノづくり部品大賞



機構・組織図





本社 TEL 03-5644-7000 FAX 03-5644-7100
東日本支社 TEL 03-5644-7284 FAX 03-5644-7249
東京都中央区日本橋小網町14-1住生日本橋小網町ビル

さいたま総局 TEL 048-872-2281
横浜総局 TEL 045-201-7421
東北・北海道総局 TEL 022-225-8734
札幌支局 TEL 011-596-9428
福島支局 TEL 024-573-6105
北東京支局 TEL 03-5644-7283
東東京支局 TEL 03-5644-7139
南東京支局 TEL 03-5644-7234
多摩支局 TEL 042-524-5721
新潟支局 TEL 025-265-2286
長野支局 TEL 026-219-3886
千葉支局 TEL 043-245-2711
川越支局 TEL 049-229-2225
栃木支局 TEL 028-622-0307
群馬支局 TEL 027-386-3471
茨城支局 TEL 029-221-6400
相模支局 TEL 042-703-3442

西日本支社 TEL 06-6946-3321
大阪府大阪市中央区北浜東2-16 FAX 06-6946-3329
広島総局 TEL 082-545-8210
神戸支局 TEL 078-321-1731
京都総局 TEL 075-320-4272
東大阪支局 TEL 06-6730-3320
南大阪支局 TEL 072-221-0050
岡山支局 TEL 086-225-5705
福山支局 TEL 084-923-9399
四国支局 TEL 087-883-6903

名古屋支社 TEL 052-931-6151
愛知県名古屋市東区泉2-21-28 FAX 052-931-6200
三重支局 TEL 059-227-5261
富山支局 TEL 076-424-4277
静岡支局 TEL 054-255-0431
金沢支局 TEL 076-263-3311
岐阜支局 TEL 058-201-2255
浜松支局 TEL 053-454-7496

西部支社 TEL 092-271-5711
福岡県福岡市博多区古門戸町1-1 FAX 092-271-5751
北九州支局 TEL 093-562-7550
九州中央支局 TEL 094-285-7230
東九州支局 TEL 097-578-9195